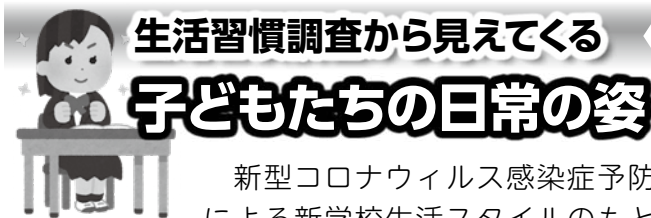


しべつ川

No.265号

標津町教育委員会 TEL 0153-82-2900

SHIBETSU



生活習慣調査から見える

子どもたちの日常の姿

新型コロナウイルス感染症予防による新学校生活スタイルのもとに、学校の教育活動を行っています。運動会や体育祭、学校祭や学習発表会等は、コロナ禍バージョンで取り組んできたことを保護者に公開し、子どもたちは充実感、成就感、達成感をその後の学校生活につなげています。

こうした状況の中で、標津町生徒指導連絡協議会は、標津町の子どもたちの日常の生活習慣に関するアンケート調査を例年と同様に9月に実施し、日常の姿を分析し、各校の学習指導や生活指導に生かし、家庭との連携を図り課題改善に努めています。

◆ アンケート構成・内容 ◆

設問1：基本的な生活習慣について

- ・起床時刻 ・朝の目覚め ・就寝時刻
- ・就寝時刻の規則性 ・朝食について
- ・食べない理由 ・歯磨き

設問2：平日の家での時間の使い方

- ・テレビなどの画面を見る時間
- ・ゲームの時間 ・外遊びの時間
- ・家庭学習の時間

設問3：メディア機器について

- ・メディア機器の所持率
(①スマホ・携帯 ②パソコン ③タブレット ④ゲーム機)
- ・SNSの利用 ・家族間での利用のルール
- ・利用の実態

1. 基本的な生活習慣について

○小・中学生はどの学年もほぼ7時までに起床しています。

昨年度7時過ぎに起床する児童の割合が高かった学年に改善が見られます。

現小学1年生のこども園児からの経年比較 (H30...0%→R1...23.5%→R2...7.3%)

現小学4年生の2年生から経年の比較 (H30...4.3%→R1...21.6%→R2...0%)

○高校生は7時過ぎに起床する生徒が2割から3割を占めています。

○午前0時以降に就寝している中学生は各学年約1割(増加傾向)、高校3年生では約5割(増加傾向)を占めています。

○朝食に関する調査結果は円グラフの通りです。

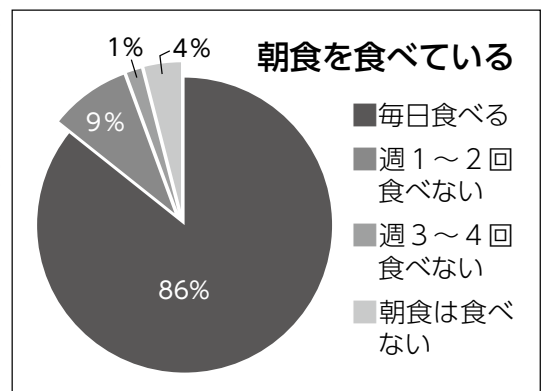


朝食を食べない理由に挙げている多い意見

- ・食べたくない ・面倒くさい
- ・食べるものがない ・寝坊するから時間がない



**朝ご飯を食べると脳も心も体も
元気に1日をスタートすることができます。**



2. 平日の家での時間の使い方

○家庭学習では、1時間以上勉強する割合が小学5年生から増加傾向にあります。

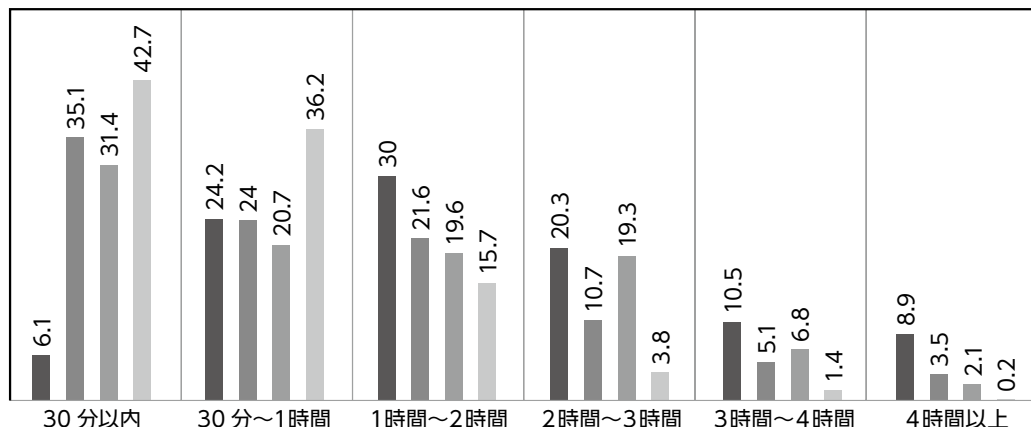
○テレビや動画など画面を見る時間は昨年度と差異はありません。

○ゲームを2時間以上しているのは小学3年生以上で、4時間以上は6年生以上という結果です。



平日の時間の使い方

■テレビやDVD、インターネット動画 ■ゲームをしている時間
■外で遊んだり運動したりする時間 ■家庭での学習時間



平日の家での時間の使い方については、基本的な生活習慣と大きく関連します。このことから、子どもたちは下校後の大切な時間をどのように使うかを考え、判断し、行動することが大切です。

3. メディア機器の使用について

携帯電話・スマートフォンの所持率は年々高くなる傾向

- ・小学1年生 昨年 0%→今年 9.4% ・小学2年生 昨年 3.6%→今年 15.4%
- ・中学1年生 昨年 45%→今年 69.7% ・中学3年生 昨年 72%→今年 77.1%
- ・高校生 100%

○小学3年生（14.8%）から小学6年生（12.5%）までは、家庭学習にメディア機器を活用していると回答しています。

○タブレットについて全年齢で約3分の1が利用しています。



学校では今年度からプログラミングを勉強しています。

今年度中に小中学校で、オンライン授業を推進するために一人1台のタブレット使用が可能となり、子どもの学びを保障する環境が整い、コロナ禍等による一斉休校となった場合でも、児童生徒の学びを保障することができます。



メディア機器は、使い方次第で児童生徒の「主体的な学び」へ有効活用できます。

○年齢が下がるにつれてYoutubeの利用が多く、年齢が上がるとTik TokやLINE、Instagramの他者と交流ができるSNSの利用が広がっています。

○インターネット利用のルールを保護者と決めているのは、小学校では90%以上、中学3年では67.4%、高校3年では20%という結果でした。

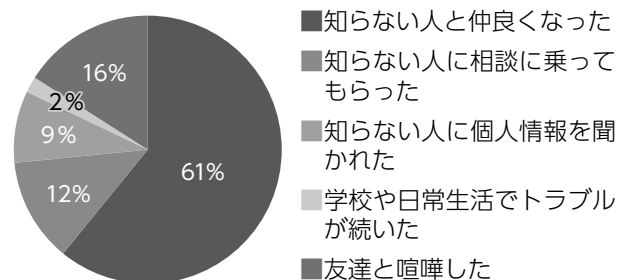
○子どもがメディア関連の被害に遭うことや事件に巻き込まれることを未然に防ぐには、買え与える親の責任として「ルール」や「マナー」の指導や確認が必要です。

調査結果から、トラブルの低年齢化が見られ、小学5年生から知らない人とのトラブルが増加しています。

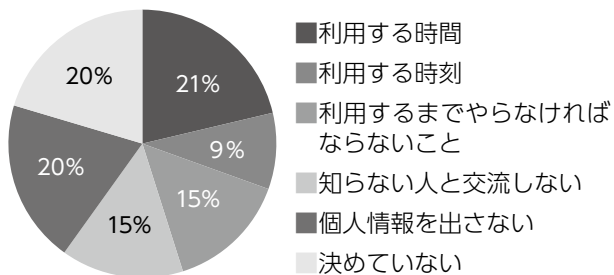


今後さらに「インターネットの便利さと危険を知り、安全に利用できる力」を、家庭と学校で育てていく必要があります。

インターネットを利用して



親と決めているルール



**子どもが嫌な思いをしないために、
危険な事件や事故から子どもを守るために、
親と子どもで考える
『インターネット使用時のルール』は必要です。**

子どもたちが経験しているインターネットの世界での「いやな思い」や「危険」なこと

- いやなことを書き込まれた。
- 知らない人にLINEを追加された。
- ゲームで妨害された。
- インスタのDMに変なDMが来た。
- ワンクリック詐欺で住所を特定したと脅された。
- 危険なURLを知らない人から送られてきた。
- 出会い目的の人からTwitterやLINEなどで急に話しかけられた。



今年度の調査から

今年度の生活習慣調査からも子どもたちの安心安全な生活を保障し、心身の健やかな成長のためには、学校と家庭、地域の連携が大切であることを再確認することができました。

1. 基本的な生活習慣を身に付けること

1日の脳と体の活性化のためには、毎日の朝食はとても大切です。

しっかりと朝ご飯を食べるためには、規則的な就寝時刻も起床時刻も含め、基本的な生活習慣を意識することが大切です。子どもの手本は大人です。

2. ネット社会に潜む危険から子どもを守ること

年齢・学年が上になるほど学習や部活動（少年団活動含む）、習い事の時間よりも、SNSやオンラインゲーム等に時間を費やしている傾向にあることから（コロナ禍による外出自粛や様々な活動自粛も影響）、ネットやSNS、ゲーム依存が心配になります。

また、軽率な書き込み、人との適切なかわりに気付かない振る舞いが「いじめ」につながる可能性があります。個人情報の扱い、誹謗・中傷等は犯罪につながることを保護者の皆さんからも厳しく指導すること、使用時のルールを作り確かめ合うことは子どもを守るとともに、他者とのトラブルの未然防止につながります。

3. 日常の時間の使い方

このお話は、自分の時間をどう

使うかで、自分の将来が大きく違ってくることを考えさせてくれます。自分の目標を叶えるため、自分が目指す職業に就くため、1日1日と成長を積み重ねています。下記の3点を含めて、これからも時間を大切に生活していくことが大切です。

- ①宿題から自分で学習計画を立てて取り組む家庭学習を習慣づける（得意を伸ばし苦手を克服）。
- ②自分の将来の夢や目標の実現に向けて時間を大切にする（小学校高学年から）。
- ③自分のことは自分でできる力を身に付ける。

（規則正しい生活リズム・手伝い・読書・適度な運動・ゲームやネット時間の短縮 等）

・カメはウサギの休憩時間に大逆転しました。

・アリは冬に備え夏の間に食糧を貯えました。～イソップ寓話

標津きらり大学

手帳をご存知ですか？

標津きらり大学では、講座（講演や教室等）に参加いただいた際に、単位認定のスタンプを手帳に押しています。規定以上の単位を取得すると、毎年5月に開催している開校式で表彰・称号を授与しています。手帳の交付は入学申込書に必要事項（住所・氏名等）を記入するだけでとても簡単です。

この機会にきらり大学手帳をつくってみませんか？



※称号必要単位に達したきらり大学生の方はあすばるまでご連絡下さい。

《表彰・称号》

- ◆キッズ学び 奨励賞 30単位【小学生】
 - ◆ジュニア学び奨励賞 80単位【中学生・高校生】
 - ◆標津きらり大学「学士」称号認定 50単位【小中高生・一般】
 - ◆標津きらり大学「修士」称号認定 100単位【小中高生・一般】
 - ◆標津きらり大学「博士」称号認定 150単位【小中高生・一般】
 - ◆標津きらり大学「教授」称号認定 200単位【小中高生・一般】
 - ◆標津きらり大学「学長奨励賞」 300単位【小中高生・一般】
 - ◆標津きらり大学「学長賞」 500単位【小中高生・一般】
- ※「学長賞」受賞後は300単位取得毎に「学長奨励賞」を授与します。

★問合先：町生涯学習センターあすばる（☎82-2900）

新春 書き初め大会

結果について

児・小中学生が30名参加し、講師の中野先生と半田先生に教わりながら、のびのびと書いている様子が見えました。後日、講師による審査の結果、下記のとおり各賞が決定いたしました。



銅賞

大石 耕大〈標 乙 園〉 大石百々恵〈標小1年〉
古海 心花〈標小3年〉 佐藤ひなの〈標小5年〉
滝本 憩〈川小6年〉

奨励賞

東口 結士〈標 乙 園〉 東口 煌士〈標小2年〉
合田 悠真〈標小2年〉 工藤 堇〈標小2年〉
桜井 誠峯〈標小5年〉 西山 実希〈標小5年〉
広木 栲月〈標小5年〉 工藤 啓斗〈標小6年〉

1月9日町生涯学習センターあすばるで、新春書き初め大会が開催されました。当日は町内の幼



金賞

古川 心春〈標 乙 園〉 大石 幸正〈標小1年〉
音川ひより〈標小2年〉 長谷川直希〈標小4年〉
合田 翔海〈標小5年〉 唐崎 愛華〈標小6年〉
村山 杏樹〈川中2年〉 音川 藍慈〈標中3年〉

銀賞

大石 辰季〈標 乙 園〉 中村 航〈標小1年〉
武田 一優〈標小2年〉 阿部 涼葉〈標小2年〉
古川 咲希〈標小3年〉 滝田 絢乃〈標小4年〉
藤本 芽愛〈標小5年〉 遠藤菜々瀬〈標小6年〉
工藤 彩奈〈標中2年〉

受賞されたみなさん、
おめでとうございます。
来年の参加もお待ちしています。

（氏名敬称略）

ビンゴの様子



川北こども会 クリスマスパーティー



川北地域子ども会育成連絡協議会では、毎年12月に「クリスマスパーティー」を開催しています。

今年は12月19日(土)に川北生涯学習センターを会場に開催され、川北小学校の児童65名の参加がありました。

パーティー内容は、チーム対抗のドッジボールとイントロクイズやビンゴ大会と、こども役員を中心に企画・運営が進められました。また、例年はケーキやジュースの軽食を楽しみながら進めておりましたが、コロナウイルス対策のため持ち帰りの対応とし、各家庭で堪能していただきました。

今回はコロナ禍の開催で、例年の実施内容を十分に行うことは出来ませんでした。対策等を行いながら、可能な限りゲームを企画し、とても充実したパーティーとなりました。



子ども役員の司会進行

第3期生大募集!!

しべつ未来塾生

「しべつ未来塾」では、一緒に活動していただけるメンバーを随時募集しています。

第3期生の任期は令和5年3月31日までとなります。

自分たち発のアイデアで、地域を盛り上げていきませんか。

気軽に
参加してネ



1. しべつ未来塾の活動目的

「標津のまちづくりと青年同士のネットワークの構築」をテーマに標津の将来を担う青年・女性の異業種間の交流をはかり、「ふるさと標津への愛郷心の醸成と未来を担う」人づくりの育成を図る。

2. 対象者

- 町内在住又は町内で勤務している方で、年齢が概ね20歳～40歳の方
- 標津町が好きで愛着をもっている方、標津をもっと知りたい方
- 地域の活性化のために若い仲間と活動をしたい方
- 町内外の異業種メンバーと交流し、若者ならではの催しを興したい方

★入塾を希望する方、詳しい内容が知りたい方、どなたかで紹介いただける方など、お申し込み・お問い合わせは事務局の町生涯学習センターあすばるまで。
〈TEL:82-2900 FAX:82-2901 Mail: asuparu@shibetsutown.jp〉



※申込書は町ホームページからダウンロードできます (QRコード参照)

★問合先：町生涯学習センターあすばる (☎82-2900)



事業・行事名	期 日	時 間	対 象	会 場
スポーツ体験教室	2/1、15、3/8、15	16:00	小中学生	総合体育館
エアロビクス教室【健康P】	2/2、9、16、23	19:30～20:30	幼児～一般	川北生涯学習センター
子ども元気アップ大作戦	2/3、3/19	9:00	幼 児	標津こども園
管内小学生バレーボール大会	2/6	9:00	小学生	総合体育館
第47回標津スプリント選手権大会 兼大菅小百合記念大会	2/6	9:00	小中学生	町営リンク
子ども元気アップ大作戦	2/8、3/9	9:00	幼 児	川北こども園
フットサルイン標津	2/21	9:00	小中学生	総合体育館
スキー場まつり	2/28	10:00	小中高一般	金山スキー場
第37回室内ソフトテニス大会	3/14	9:00	一 般	総合体育館
少年活動研修会	3月末	1泊2日	川小5年生	川北生涯学習センター
EZO'N歌姫コンサート	中止			
Crann Fieldsコンサート	中止			
標津キラリ発見隊（スノーシュー体験）	中止			
四地区高齢者のつどい 兼 高齢者学級閉級式	中止			

※【健P】は健康ポイント対象事業です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただくこともございます。詳細は各担当へお問い合わせください。

あすばる展示コーナーの お知らせ

あすばる展示コーナーでは、「一どっこい生きているー 第5回シニア写真展 7 & 8 道東を撮る」の展示を2月14日から行います。

- ◆期 間 令和3年2月14日(日)～
令和3年2月28日(日)
- ◆場 所 標津町生涯学習センター
「あすばる」展示コーナー
- ◆主 催 写真グループ
『グルッペ7 & 8』
- ◆後 援 標津町生涯学習センター



日頃写真を趣味としている、標津町在住の70～80歳代の四人が、各自の視点で切り取った道東の風物を今年も展示しますので、ぜひこの機会にご覧いただき、道東再発見をお楽しみください。